

プログラム 2 日目が始まりました。ホストファミリーの送迎にて続々と生徒達が集まり始めました。昨日のホストファミリーと過ごした 1 日の様子を伺ってみると、家族とテレビを見たり、ゲームをしたり、買い物に行ったりと様々な方法で交流を行っていた様です。生徒達から預かった日記には「本当の家族の様に扱ってくれた」等の嬉しい言葉や、食事の仕方等で日本と違った所を感じた様ですが、それをニュージーランドの文化だと受け入れる言葉が多くとても嬉しく感じました。全員が集まった所で、マオリ族に伝わる歓迎の儀式ポフィリへと向かいました。ホンギと呼ばれる、互いの鼻と鼻を合わせ（女子生徒は頬と頬を合わせます）で挨拶を行う所もあれば、場所によっては挨拶の仕方が違ったりポフィリの流れが違うとの事でしたが、今回は現地生徒から唄を披露して頂いた後に、日本とニュージーランドのお互いの国家を斉唱しました。（突然の事で歌えなかった様ですが。。）伝統的なホンギは行われませんが、生徒達は厳粛な雰囲気の中行われるポフィリの雰囲気を楽しむことは出来たのではないかと思います。

終了後のクラスでは、ニュージーランドで過ごすために必要となる英語表現を学ぶ機会として行われた **Survival English** のクラスにて、自己紹介のやり方や相手に物事を丁寧に依頼する表現等を学びました。日本でも学んだ事のある表現ではありますが、実際に声を出してみると、なかなか思った様に発言が出来なかったりと苦労しながらも必至に授業についていく様子が見られました。授業終了後の昼食では、現地生徒と交流を行うためにも、教室から必ず出て食事をする様に先生から言われます。授業が終わるとすぐに教室から出たがる生徒達もこの時ばかりは教室から出るのを躊躇いながらも、勇気を出して一歩外に出てみると今までの心配は全て吹き飛んだ様です。四方八方から「Hi!!」「How are you?」と、とてもフレンドリーな現地生徒達が声を掛けてくれました。日本と違い湿度の無い暖かい晴れ空の中、現地生徒と共に昼食を楽しむ姿が様々な所で見られました。大盛り上がりの昼食後は 5~6 つほどのグループに分かれ、現地生徒の授業に参加をさせていただきました。一緒に体育の授業としてラグビーやバスケットボールをする生徒もいれば、パソコンで意味を調べながら同じ課題に取り組んだりとしている内に生徒達の顔からは自然と笑顔が溢れ出てきていました。あっという間に終えた 2 日目でしたが、午前中のクラスと午後のクラスでの生徒の発言量・声の大きさは各段に上がっており、現地生徒との交流により生徒達の「英語を使ってコミュニケーションを取る」といったハードルは確実に下がった様です。このままの勢いでホストファミリーとも更に交流を深めてもらえる様に伝え本日は解散となりました。徐々に楽しくなってきたであろう本研修ですが、現地で過ごすのは早くも残り 4 日間のみです。全力で楽しみ、思い出に残る研修として頂きたいと思います。2 日目のご報告とさせていただきます。

諏訪清陵高等学校附属中学校 ニュージーランド語学研修 報告書 2日目 3月6日(火)
【Peach Grove Intermediate】



【現地生徒との昼食の様子①】



【現地生徒との昼食の様子②】



【現地生徒との昼食の様子③】



【現地生徒とラグビーで交流！】



【こちらはバスケットボールで！】



【過ごしやすい外で課題に取り組みます】

諏訪清陵高等学校附属中学校 ニュージーランド語学研修 報告書 2日目 3月6日(火)
【Peach Grove Intermediate】



【パソコンを使って課題に取り組みます】



【自然と笑顔が溢れ出てきます！】